



南部町立南部中学校 学校だより 第13号

# チーム南部中

令和2年 9月30日(水)  
校長 望月 和彦

## 第10回輝城祭の感想～保護者アンケートより～

今回の輝城祭はコロナ対策のために入れ替え制にしたため、保護者の方々には全部を見ていただくことができませんでした。また、地域の方々の参観は見合わせていただきました。輝城祭の様子については前号で紹介しましたが、保護者の方々からたくさんの感想や意見を寄せていただきましたので、一部を紹介いたします。

○(略) 輝城祭当日までの準備は楽しいことばかりではなく、思うようにいかなかったり、問題にぶつかったり、いろいろあったと思います。(私も子どもが夜遅くまで取り組んでいたり、悩んだりしている姿を目の当たりにしていました。)でも、あのオープニング、ソーラン節、演劇を見させてもらって一人一人が呼吸を合わせ、



本気で向かい合い、心が一つになっているのが、とても良く伝わってきて、鳥肌が立ち自然と涙が出ました。本当に素晴らしいものを見せていただきました。この輝城祭を通して、子どもたちは改めて努力し、頑張ることの意味を知ったと思います。(略)

○すべてにおいて、やらされている感がなく、自分たちの意志や覚悟で動いていることが伝わってきました。ソーランもとても良かった。新喜劇は「中途半端だと面白くないのでは？」と心配していましたが、心配はいらなかった。笑わせてもらいました。体育部門も少ない種目でしたが、全体で一つになっているのがわかりました。最高の輝城祭でした。

○演劇、ソーラン節、最後のフォークダンスはとても良かったです。コントとかを見て笑わないですが、3年生の新喜劇は本当に面白くて、何度も笑って楽しませてもらいました。ソーラン節も迫力がありました。人数が多いから仕方ありませんが、遠くにいる子どもをもう少し間近で見たかったです。フォークダンスはとてもはじけていて、子どもたちが嬉しそうに踊っている姿を見て、成長を感じ感激しました。



○今年初めて「ソーラン節」を見せてもらいましたが、3年生の気迫に圧倒されました。本来なら3年生の保護者だけでなく、他の保護者の方々や地域の方にも見てもらえるのに、もったいない、残念だな…と思わせるような本当に素晴らしい「ソーラン節」でした。また、3年生の劇ですが、久しぶりに心から笑わせてもらいました。こんな状況だからこそ、笑って過ごせる内容にしたのも良かったと思います。(略)



○練習が始まった頃、最初のうちは少々かたまったようにしていましたが、朝練も始まり、土日も弁当持ちで練習となっても、「中学校生活最後だから」という想いもあってか、いきいきと取り組んでいる様子うかがえました。ひょっとしたら輝城祭が中止になってしまうかも…と休校期間中にとっても気になっておりましたが、例年になく、一人一人の姿が一つにまとまっているように見えました。反省点などありません。

○先生方の思い、子どもたちの思い、紆余曲折はあったかと思いますが、子どもたちにとっては、この経験が糧となり、これからの人生にもつながっていくのではと思います。子どもたちが大人になったとき、輝城祭の思い出が会話の中できっと花を咲かせると思います。これからもそんな素敵な輝城祭であって欲しいです。

○(略) 内容を削減したとはいうものの、どれも見応えがあり、不足を感じることはありませんでした。一つ一つの取り組みに深い思いが込められていて、最後に感動をたくさん心に刻むことができました。来年度以降、内容は削減のままでも、観覧制限はなくなっていることを祈っています。(略)

○新型コロナウイルス予防策や啓発活動もしっかり出来ていましたし、縮小した形での輝城祭でしたが、上手くまと

まっていたと思います。何よりも開催していただいたことに感謝します。(略)

- 一日少なくなったけれど、今年の内容で十分満足できました。内容の濃いものを出していけば、観客は問題ないと思います。来年度も一日の内容でいいのではないのでしょうか。一つ一つの内容の充実を目指して欲しいです。(略)

- (略) 3年生のオープニング、演劇、すべて素晴らしかったと思います。演劇での関西弁、とても上手でした。



○暑い毎日の中、南中ソーランの練習はとてもハードだったと思います。当日の完成された舞は、今回の輝城祭への気持ちが表れていました。演劇も、今度本物の吉本を見に行きたくなるくらい笑えて楽しい時間でした。

○(略) 3年生が最後の輝城祭をできる限り盛り上げようとしている気持ちが伝わってきました。ソーラン節はいつもと違う演出であっても気迫が伝わってきましたし、3年生の新喜劇は予想以上の出来に驚き、3年生の保護者だけが見るにはもったいない！と思うほどでした。長い時間の劇でしたが、そんな時間を感じさせないあつという間の楽しい時間でした。小規模になってしまいましたが、その中でも子どもたちが一生懸命輝城祭を楽しんでいるように見えたのが良かったです。

○どの演目も気持ちのこもったパフォーマンスで良かったです。最初は演目が減って見応えがあるか心配しましたが、十分の内容でした。特に3年生の演劇は心から笑えるものでした。3年生の想い「だからこそ」が良く伝わってきました。いいものを見せてもらいました。ありがとうございました。

- (略) 準備の期間が少ない中、本当に感動するオープニング、そしてソーラン節でした。3年生の意気込みを感じました。他の学年も一生懸命で良かったです。今回の輝城祭のテーマ「だからこそ」がとてもピッタリでした。

- 今回の輝城祭は異例尽くしでした。3年生になって4月から5月まで空白状態で大丈夫なのか、本人たちより保護者の方が不安でしたが、3年間一度も開祭式を見たことがなかったので、今回は行ってみました。不安なんて1ミリも感じさせない雰囲気、体育館に入った瞬間から感じました。

今回の大きな見どころのソーラン節は、コロナを吹き飛ばすくらいの迫力でした。体育館が3年生のパワーで揺れて、とても感動しました。涙が出そうでした。(略)



- コロナウイルスの中、「だからこそ」をテーマにがんばった輝城祭。南部中学校の生徒の皆さん、感動をありがとう。私たち大人も「だからこそ」の心構えで、コロナウイルスの終息に向けて努力していこうと改めて心した一日でした。(略)

- 3年生のソーランは子どもたちの熱意が伝わってきて、とても感動しました。演劇も3年生皆のテンポが良く、息がぴったり合っていて、笑わせてもらいました。体育の部も全校生徒が一生懸命で、見ていて気持ちが良かったです。

- (略) 演劇の背景や大道具も素晴らしかったです。フォークダンスのジンギスカンは皆楽しそうで、見ている方も心が高揚しました。

- 感染症対策がばっちりでしたね。来年は今まで通りにできたらいいですね。

- コロナ禍で例年通り開催できなかったことは、大変残念に思いますが、生徒や先生方の工夫のおかげでゆっくり時間をかけて参観できました。全校の発表が見られないのは残念でしたが、自分の子どもの学年発表のみ観覧可能な措置はかえって見やすい場所で見られたので良かったです。席の間隔も空いていて、安心して滞在できました。後日DVDの貸し出しもあるようですので、参観できない部分は、そちらで楽しもうと思います。

- 色々な制限がかり、時間がないうちで、みんなで協力して取り組んだ結果、大成功に終わることが出来て良かったと思います。今年は昨年までと違い一日になってしまいましたが、子どもたちが変わらずがんばっていた姿を見て、私たちも子どもに負けないようがんばらねえと！と感じさせられました。

- 今年、私の子は劇に出演していなかったのでステージ上の姿は見る事が出来ませんでした。生徒の皆さんは大きな声でいきいきと演じていて、時間をかけて練習してきたのがとても良く伝わってきました。来年はすべての輝城祭の出し物が発表でき、参観できることを願っています。



○2年生の劇のみ観させていただきましたが、声もしっかり出ていて、セリフもスラスラと言っていて、とても分かりやすく素晴らしかったです。ありがとうございました。

○1年生の演劇を観させていただきました。完成度の高さにまず驚きました。しぐさや台詞の言い回しなど、すばらしかったです。また、一人一人の成長にも驚かされました。小学校卒業から半年しか経っていないのに、大人っぽくなっていて嬉しいやら、少し淋しいやら…。演劇発表後、お互いに声をかけ合っている姿がまぶしく見えました。とても良い輝城祭であったと思います。ありがとうございました。



○1年生は毎年歌舞伎ですが、今年はずっと違った雰囲気での演劇でした。一生懸命さが伝わってきて良かったです。どんな形でも輝城祭が開催できて良かったです。

○短い時間の中で、各自の役割を果たすためにがんばった様子がうかがえました。展示作品にはそれぞれの想いが明記されており、背景が伝わってきました。一人一人の個性が輝く作品を楽しませていただきました。劇でも、長い台詞や表情、指先の動き、目線などの細かな部分に驚かされました。成長を感じ、心に伝わるものがあり、考えさせられた時間でした。エンドロールでがんばる過程が見えたのが良かったです。

○1年生の演劇を観ました。知っている子が勢いよく出ていて、成長ぶりに驚きました。内容もよくわかるし、声も良く出ていました。展示も個性豊かな作品で楽しませてもらいました。時間がない中で、これだけのものができていることに感動しました。

○劇で出演していた生徒は大きな声で演じていて、よく頑張っていたと思います。その他、大道具、小道具、照明の生徒もしっかりと役割を果たしていたので、とても良い発表ができていました。お疲れ様でした。

○コロナが心配される中、感染症対策をしっかり行い、開催していただけて嬉しかったです。3年生のソーラン節は力強く良かったです。1年生の演劇を見て、自分の子も神様のところにいるとき、色々と考えて「生まれることを選んでくれたのかな？何かを失ってしまったかしら？」とちょっと心配になってしまったけど、考えさせられる演目でした。



○練習時間が少なかったのに、すぐまとまっていたのがわかりました。体育館という広い場所で仕方ないのですが、後ろの方からは聞き取りにくい部分があり、少しだけ残念でした。でも、難しい題材でしたが、最後にはとても引き込まれました。とても良かったです。



○練習期間が短い中、みんなとても上手に役を演じていたと思います。1年生しか見られなくて残念でしたが、1年生の発表がこんなに良かったので、きっと2年生、3年生はもっと良く出来ていたんだろうなと思いました。(略)初めての学園祭を子どもたちが楽しくやっていたようなのでとても良かったです。

○コロナ対策として、入口のところから階段を使用せずスロープ側だけにするなど、細かな配慮がされていた感じがします。全体的に素晴らしかったです。(略)

○コロナ対策を考えてくださり、安心して参観できました。ありがとうございました。

○感染予防対策は一つ一つちゃんとしていて、かなり丁寧に行われているなと思いました。(略)

○会場での生徒たちの気持ちのいいあいさつが印象に残りました。

<以下は、保護者から寄せられた輝城祭に関わる要望です。少数意見も掲載しました。>

△体育の部での参観者を増やしても良かったのでは。(各家庭2名、1・2年生の保護者もなど)

△参観できなかった保護者や祖父母のために、見られる機会を。(DVD貸し出し、映像上映など)

△3年生の保護者向けに、もう一度ソーランを発表して欲しい。

△吹奏楽部の発表(前列の子)が保護者席からは見にくかった。

△学年発表では、舞台に立つ生徒の人数がもう少し多いと良いと思った。

△今後も土曜日にやってほしい。

△生徒の体力や健康を考えると、日程や内容は今年度並みで良いのではないかな。

△土日の両方とも準備や練習で休めないことがあったのが、検討できないか。(教員の多忙化改善からも)

△体育部門で保護者用テントが足りず、マスクは着用していたが、ソーシャルディスタンスが確保できない部分

があった。

△体育の部のBGMの音量が小さかった。

△エンディングも制限付きで参観を認めてもらいたかった。

△ソーランの法被は、今まで使ってきた黄色と青の法被の方が良かった。

△体育の部の種目順をプログラムに載せてもらいたかった。

△役員や主役ばかりでなく、できるだけ多くの生徒に、同じようにスポットをあててほしい。

△劇で役者でない子どもも、裏方や他の役割でがんばっていたと思うので、スライドなどで積極的に紹介を。

※すべてのアンケートの回答を掲載することはできませんでしたが、書かれている内容に、生徒たちはもちろん、教職員も、たくさん励まされました。要望については検討し今後活かしていきます。ご協力ありがとうございました。

## コミュニティ・スクールの柱「学校運営協議会」

本校は、平成28年度から県内中学校で2番目のコミュニティ・スクール(CS)となり「地域とにもある学校づくり」に取り組んでいます。そのCSの柱となる組織が「学校運営協議会」です。学校運営協議会は、学校経営に地域住民の意見や要望を取り入れ、地域の力を借りながら教育活動を推進していくための組織です。委員は2年の任期で、今年度から3期目の学校運営協議会が組織されています。区長会、主任児童委員、青少年育成南部町民会議、社会教育委員、社会福祉協議会、PTA本部、本校歴代校長のそれぞれの代表者とCSのアドバイザーである常葉大学の堀井啓幸教授の12名に委員になっていただきました。5月22日の第1回目の会議を感染症対策のために書面表決としたため、9月25日の第2回の学校運営協議会が、今年度委員に集まっていた初めての会議となりました。



会議の前に輝城祭のソーラン節の映像を見ていただいたあと、今年度の教育活動の内容や状況について本校職員より説明しました。その後、山本純司会長を座長に、委員さんたちと教職員代表による充実した話し合いが約2時間行われました。適応指導教室「ステップルーム」の活用など一人ひとりに寄り添った教育活動をさらに推進してほしい。あいさつを大人と子どもが一緒になって推進してほしい。アシスト授業や高校生による陸上指導など身延高校との連携をさらに効果的に進めて欲しい。校内で研究しているアクティブ・ラーニングの成果を検証してほしい。「ソーラン節」「やまなしスタンダード」などに取り組む意味を大切にしたい。有害獣対策など子どもたちの安全に注意してほしい。コロナによる誹謗や差別などが起こらないような取り組みをしてほしい。などなど貴重な意見やアドバイスをいただくとともに、本校の教育活動に対する励ましや支援の意見もたくさんいただきました。会議の内容は今後の学校経営に役立てていきます。

## 新人戦選手激励会

10月1日(木)・3日(土)に峡南地区新人体育大会(新人戦)が開催されます。夏の県総体で3年生が引退し、1・2年生にとって最初の公式戦となります。それに向けて9月28日(月)の放課後、生徒会の応援委員会が中心となって「新人戦選手激励会」が行われました。例年実施してきた地区総体前の激励会は、今年度はできなかったため、今年度最初の選手激励会となりました。感染症予防のため、恒例の全校生徒による「全力校歌」や「全力応援」はできませんでしたが、応援委員の心のこもったエール、吹奏楽部の演奏、全校生徒の拍手で、選手たちを励ますことができました。選手代表として男子ソフトテニス部の武川洋斗部長が大きな声で堂々と選手宣誓を行いました。新人戦当日は3年生や先輩たちが築き上げてきた「部活動にもがんばる南部中」の伝統を受け継ぎ、プレーでも、態度でも、本校の選手としての誇りを持って戦い、行動してきて欲しいと思います。

